

農の広場

登米市農業委員会だより

第47号
令和8年2月



地域農業の担い手として

さ さ き た く や

中田町浅水の佐々木卓哉さんは若い時に父を亡くし、しばらくは兼業で5ヘクタール弱の自作地で水稻を主に作付けしていました。7年前に脱サラを決意して就農！！

妻のみゆきさんと2人3脚で頑張っている認定農業者です。

就農してからは、地元の浅水地区を中心に農地の借り入れなどで規模を拡大し、今では耕作面積23ヘクタール（水稻15ヘクタール、牧草5ヘクタール、ポテトチップス用のジャガイモ3ヘクタール）を経営し、地元だけでなく地域を超えた担い手となっています。

将来は50ヘクタールまで経営面積を増やしたいと話しており、法人化も目指しています。

担当：五十嵐 幸喜 委員

新年のご挨拶



会長
高橋清範

新年を迎え皆様には健やかに過ごしの事とお慶び申し上げます。

昨年を振り返りますと「令和の米騒動」から常に米の価格に関する話題に事欠かない一年でありました。また昨年末に近い11月に就任した農林水産大臣は、一転して増産から減産（転作）へと大きく舵をきったところですが、果たしてそれは国民の理解を得られたのでしょうか。いわゆる机上の「猫の目農政」再復活であり、ころころ変わる農業政策は関係機関にも混乱をきたし農家からも反発を招くことは避けられません。農家の方々は単なる「操り人形」ではありません。多くの人々は強く抗議したいという気持ちに駆られ、令和の「百姓一揆」というデモ行進へと発展しました。そうした中、農業委員会が中心となってまとめた「目標地図」については、10年後の将来に向けてさらにブラッシュアップを進めていくところですが、農林水産大臣の発言については多くの皆さんから「生産意欲」を削がれると

言い、一貫性を欠いていると戸惑いの声が聞かれるのも当然であります。農業委員会としては、これまで以上に、担い手を育成し、農地を守り有効活用を図ることを重要な役割として、日々努力して参ります。またこの度、農水省では全国に向けて農業者との話し合いの場に調整役として職員を参加させるといいます。その際には、できれば若い担い手の皆さんと将来に向けた方向性や「食料システム法」についても生産者としての考え方を伝えられたらと大きな期待を抱かずにはいられません。農地は、国民の宝であります。農業、農村の豊かさとは、単に生産高ではなく、どれだけ新たな人間のつながりを生み出すかが大切であり、伝統、文化という社会的価値を地域内外に示し、人々が集う仕組みにすることが重要であります。

農業委員会はすべての農業問題や課題についても、法律に基づく「意見書」の提出などをとおして皆様の声をしっかりと受けとめ、にぎやかで魅力のある地域づくりに取り組んで参りますので、ご理解ご協力のほどをよろしくお願い申し上げます。新年のあいさつといたします。

第10回宮城県農業委員会大会

11月14日名取市文化会館で宮城県農業委員会大会が開催されました。大会では表彰が行われ、登米市からは在職期間が20年になる門馬一郎会長職務代理者、鈴木巖委員に知事感謝状が授与されました。

記念講演では、東京大学大学院特任教授・名誉教授、食料安保推進財団理事長の鈴木宣弘氏による「真の食料安全保証の実現に向けて～地域計画の実効性確保と農業委員会の役割～」と題した講話を拝聴しました。輸入に依存せず、安全で高品質な食料供給ができる日本の地域資源循環農業の良さを守っていくことが農業を守り、子どもたちの未来を守ることに繋がる大切なことであるという主張が印象的でした。

担当：小野寺 鉄子 委員



令和7年文化の日表彰



10月30日に東京エレクトロンホール宮城で令和7年文化の日表彰が行われ、高橋清範会長、門馬一郎会長職務代理者、鈴木巖委員が産業功労者として表彰されました。

農業者年金に加入して安心で豊かな老後を!

要件

- ①年間60日以上農業に従事
- ②国民年金第1号被保険者(国民年金保険料納付免除者を除く)
- ③65歳未満(60歳以上は国年任意加入者)

YouTubeチャンネル開設しました。(宮城県農業会議)



農業者年金制度解説 篇



農業者年金加入者インタビュー 篇

令和8年度農作業標準料金・賃金表

農作業標準料金・賃金表は、農作業の受委託をする場合の目安としてご利用ください。

※実際の作業料金を決定する際は双方協議をお願いします。

作業種目等	種別	作業の単位	区画	令和8年度標準料金(税抜き)	令和8年度標準料金(10%税込)	備考	
耕起	水田耕起	トラクター	10a	30a未満	5,491円	6,040円	ロータリーを基準 耕深12cm以上
				30a~50a未満	4,800円	5,280円	
				50a以上	4,345円	4,780円	
	畑耕起	トラクター	10a		3,436円	3,780円	二番耕
				30a未満	5,609円	6,170円	普通畑
代かき	トラクター	10a		30a未満	6,445円	7,090円	仕上げまで
				30a~50a未満	6,309円	6,940円	
				50a以上	5,964円	6,560円	
田植え	催芽料金	1袋	4kg	282円	310円		
	苗	1箱		773円	850円	苗を委託者自己搬入以外は1箱30円増 箱処理剤は含まない	
	田植機	10a	30a未満	5,955円	6,550円	・側条施肥は1,000円増 (肥料代は含まない) ・除草剤・箱処理剤の同時処理は各500円増 (薬剤代は含まない)	
			30a~50a未満	5,364円	5,900円		
			50a以上	4,918円	5,410円		
直播	灌水	10a			5,455円	6,000円	代かき済み圃場とし、種籾、コーティング処理含まず
	乾田				5,409円	5,950円	整地済み圃場とし、種籾含まず
稲刈り	コンバイン	10a		30a未満	16,827円	18,510円	隅刈~運搬まで ワラ切断 ワラ結束は2,000円増
				30a~50a未満	16,400円	18,040円	
				50a以上	15,364円	16,900円	
籾乾燥調製	乾燥	生籾乾燥	60kg	1,018円	1,120円	水分28%未満。28%以上は双方協議	
		半乾燥	60kg	655円	720円	水分17%以下のもの	
	籾すり	60kg	636円	700円	袋代は別		
	色彩選別	60kg	909円	1,000円	単独作業 籾すりと同時に作業の時は双方協議。30kgは半額		
散布	肥料散布	ブロードキャスター	10a	818円	900円	肥料代は別、10a/40kgまで	
	農薬散布	背負動力散布機	10a	900円	990円	農薬代は別	
	肥料・薬剤散布	ドロオン	10a	1,155円	1,270円	薬剤・肥料代は別 未整理地、障害物のある農地及び、薬剤の種類と散布量については双方協議	
	堆肥散布	マニアスプレッター	10a	2,855円	3,140円	堆肥代金は含まない。積込運搬含む。10a/1tまで	
堆肥		1t	3,182円	3,500円	有機センター成分と同等品、運搬なし		
溝切		1m	5円	6円	溝切は100m当たり530円位		
畦畔塗り		1m	38円	42円	片側		
ワラ収集梱包	反転収集	ジャイロレーキ	10a	1,491円	1,640円	2回を標準とする	
		ロールベラー	10a	2,855円	3,140円	積み上げ・運搬は含まない 梱包、ラッピングについては、重量や巻数により双方協議	
	梱包	ハイベラー	10a	3,436円	3,780円		
		ラッピング	1個	直径1m	1,082円	1,190円	
転作田草刈(牧草)	ディスクモア	10a	3,064円	3,370円	転作草地の草刈り(刈り放し)		
畦畔草刈	草刈機	1時間	1,518円	1,670円	機械持ち(燃料含む)		
	自走畦畔草刈機	1時間	3,064円	3,370円	機械持ち(燃料含む)		
区画拡大	心土破碎	サブソイラ	10a	50a未満	2,982円	3,280円	2本爪 深さ40cm程度 5mピッチ
				50a以上	1,982円	2,180円	
	天地返し	ブラウ	10a	50a未満	6,936円	7,630円	深さ15cm以上 天地返し
				50a以上	4,955円	5,450円	
	砕土	パーチカルハロー	10a	50a未満	4,955円	5,450円	ブラウ作業後の砕土・整地・鎮圧作業
50a以上				3,973円	4,370円		
均平	レーザーレベラー	10a	16,382円	18,020円	※土地の形状及び土質により作業効率が変わるため作業内容を事前に十分協議。		
賃金	オペレーター	1日			11,700円	トラクター・コンバイン等の運転のみを依頼する場合の賃金(8時間)	
	一般作業員	1日			9,530円	一般農作業、男女とも同額(8時間)	

①賃金は、実働8時間を基準とします。

②農作業標準料金の税込表示額が10円単位となるよう税抜き表示額の1円未満を端数調整しています。

③作業料金は1作業のみの単独料金になります。複数の作業の場合は双方協議の上、決めてください。

④上記以外、未整備田(開田等)、地形、地質、作業内容や諸条件により通常と異なる場合は双方協議の上、決めてください。

⑤区画の考え方は、ほ場の区画ではなく作業面積による区画です。(例:1ha区画内で20aのみ作業する場合は「30a未満」の区画料金を適用します。)

登米市農作業標準料金・賃金改定委員会

※料金表は、市ホームページにも掲載しています。必要な場合はダウンロードしてお使いください。

【問い合わせ】登米市農業委員会事務局 0220-34-2317

熊本県菊陽町農業委員会を迎えて

11月6日中田農村環境改善センターで、熊本県菊陽町農業委員会からの視察研修を受け入れました。

菊陽町では農業委員9名（うち女性委員2名）農地利用最適化推進委員9名、事務局職員2名の計20名で農業委員会の業務を行っています。

当市農業委員会からは、会長ほか各専門委員会委員長、運営会議委員が出席しました。IT企業の参入が多い菊陽町は、豊富な水資源を有する阿蘇山の近くに位置しています。農業の主な作物はニンジンで、今後はコメ栽培にも力を入れたいと語っていました。

これからもこのような他市町村の視察研修を受け入れ、登米市農業へ役立ててまいります。

担当：門馬 一郎 委員



菊陽町視察研修

未来の農業経営者と意見交換

8月29日中田農村環境改善センターで「農業者等との意見交換会」が開催されました。毎年農政委員会が主催し「市長等への意見書」に農業者の声を反映することを目的としています。今回のテーマは「若者が魅力を感じる農業」とし、宮城県登米総合産業高等学校農業科の生徒と4Hクラブの会員を招き意見交換が行われました。

生徒からは「地域での関りや貢献」「スマート農業」等に関心を抱いているとともに作業環境や労働時間、特に給与については金額を提示するなど具体性に富んでいました。4Hクラブの先輩農業者は自らの取り組み、経験を交えるなど活発な意見交換会でした。農業科生徒のアンケート結果には、農業に対する「職業としての魅力と期待」が読み取れ、意見書に反映する道筋の一端が見えました。

担当：佐藤 久順 委員



意見交換会の様子



編集後記

昨年は「今日も暑いですね」の一言の挨拶から始まる毎日でした。夏の水不足で鳴子ダム貯水率がゼロになるなど、用水の番水制を取りながら、水田の水管理に土地改良区とともに奮闘しました。一方、世界的には大雨による大水害、大規模な火災、また国内ではクマが町中にひんばんに出没するなど大きな自然災害の多い年でした。米の価格は久しぶりに上がったものの、まだまだ問題は多く残っております。皆様からご意見ご要望をお寄せいただき、問題解決を図りながら、情報発信してまいりますので、よろしくご協力をお願い申し上げます。

門馬 一郎 委員

編集委員

- 委員長 五十嵐 幸喜
- 副委員長 浅野 和宏
- 委員 三塚 芳毅
- 佐藤 久順
- 小野 鉄子
- 高橋 健之
- 鹿野 昭子
- 門馬 一郎

新農地利用最適化推進委員紹介

欠員となっていた農地利用最適化推進委員が決定しました。
(任期：令和8年7月23日まで)



第2地区(迫町新田の区域)
伊藤 義則